資料２

●各学年の到達目標と声掛けの例（あくまで目安です。各校の指導方針に基づいて指導ください。）

◆小4またはエコ体験1年目の学年の目標：エコシールを使って家庭の中できるエコ活動を発見しよう。

今年がエコチャレンジ最初の学年です。自分の家の中でできる活動を発見し、エコ活動にチャレンジしよう。主にエコシールを使って、どこで節電できるか、どこで節水できるかを見つけ、取り組んでみよう。

〈指導者の視点〉

今年は取り組み1年目です。「まずはやってみる」という姿勢を作りたい。

◆小５またはエコ体験２年目の学年の目標：昨年行ったエコ活動を再確認しよう。

昨年のレポート覚えているかな。和歌山県のホームページ又は自分の作品で昨年の自分のチャレンジを思い出してみよう。今年はエコチャレンジ2年目です。その後、生活の中で、その取り組みは続きましたか。今年もエコチャレンジの季節になりました。思い出しながら、今年も継続してみよう。

〈指導者の視点〉

今年は2年目です。自分の普段の生活を振り返り、「節電」、「節水」、「ゴミ削減」を確認する。
今年も継続してエコ活動に取り組み、その習慣化を促したい。

◆小６またはエコ活動３年目の学年の目標：発見シールに積極的に取り組もう。

今年は、今までに行ってきたことのほかに何かできることがないか、自分で探すことに挑戦しよう。みんなはエコチャレンジ3年目のプロです。きっといろいろなことを発見できます。家の中をよく観察してみよう。

〈指導者の視点〉

例えば、「水を使う時に蛇口の水の量が、鉛筆の太さになるように心掛けた」、「油物をのせたお皿は洗う前に紙でふき取って節水した」、「お風呂の水を使って洗濯をしている」、「長い間使っていない電気器具のコンセントを見つけて抜いた」、「フィルターの掃除を家族とともに行い、エアコンの効きをよくした」、「エアコンを使う際はカーテンを閉めて使用した」など自分でエコ活動を発見するという積極的な姿勢を養いたい。